

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	保健福祉部健康増進課		■担当係	健康係
■評価事業名称	妊婦歯科保健事業			
■評価事業コード	040200 - 012	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	01 子育てと医療・福祉の充実した明るく健やかなまちづくり		
	■基本施策	01 子育て環境の充実		
	■施策	06 母子の健康の確保及び増進		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策	
■法令の根拠区分	法令に定めはあるが任意の自治事務			
■法令等の名称	母子保健法			
■関連計画の名称	北上市健康づくりプラン			
■事業の目的と概要	妊婦自身の口腔状態の改善と、生まれてくる子どものむし歯を減少させる。市内43歯科医院での個別歯科検診(歯科検診・口腔衛生指導・歯のクリーニング)			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成24年度事業計画	平成24年度事業量実績
01	妊婦歯科保健事業	妊婦全員		<ul style="list-style-type: none"> 対象 881人 受診者 439人 受診率 49.8%(前年度比 4.2ポイント増) H24年度3歳6か月児むし歯のない子の割合76.5%(前年度比2.6ポイント増)

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考
直接事業費	1,340	1,308	1,056	1,116	
人件費	741	818	2,433	1,574	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	2,081	2,126	3,489	2,690	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	21年度	22年度	23年度	24年度	指標の説明
01	妊婦歯科検診受診率(初妊婦)	0.61	0.574	0.570	0.516	初妊婦の受診率を向上させることで、生まれてくる子の口腔に対する意識が高まる。
02	要医療者の治療率	0.736	0.787	0.811	0.738	妊娠中という状況にもかかわらず7割強の方の治療が終了しており、概ね達成できている。

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

03	3歳6か月健診に於けるむし歯のない子の割合	0.693	0.721	0.739	0.765	むし歯のない子の人数÷3歳6か月児健診受診児総数×100
04	検診受診者一人当たりコスト	4.68千円	4.91千円	8.90千円	6.12千円	フルコスト÷受診者数

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■ 目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

妊娠中からの口腔に対する意識を高めることが、3歳6か月児健診におけるむし歯のない子の割合が増加する誘因になっている。

問題点・課題等

妊婦歯科検診において、体調不良で受診できない人、治療を中断してしまう人が多い。また、平成23年度から自己負担を徴収しているが、不受診理由の一つにもなっている。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■ 今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小・要改善
- IV. 民間活用・協働事業化
- V. 廃止・休止
- VI. 完了

補足説明